

作文
最優秀

「わたしの家族」

御船小3年 遠山 紀香 さん

お父さんの仕事は、薬屋さんです。毎日早く起きて、夜おそくまで仕事をしています。そんなお父さんは、やさしくて、がんばりやさんです。

わたしが、かなしんでいる時、「どうしたと、正直に話してごらん」とやさしい声で聞いてくれます。お父さんは病気をしても、お仕事に行って一生けん命がんばっています。

お母さんは、お仕事もしているけれど、おうちのお仕事もがんばってしています。そしてお母さんは、おこるとすぐこわいけれど、本当は、お父さんと同じくらいにやさしいです。わたしが悪いことをしたら、すぐにわたしをおこります。それはきつと、悪いことをまたしないようにと思ってからだと思っています。わたしが病気をしたときも、

お仕事を休んでかんびょうしてくれます。これが、わたしの両親紹介です。

わたしの家族は、週末休みではないので、三人がそろうことはほとんどありません。時々、休みが合った時は、かならずでかけます。たまに、あてのないドライブをしたりします。そんな一日は、とてもサイコーの日です。

お父さんとは、朝しか会う事が出来ないけれど、すごい思い出がいっぱいできる、そんなかぞくをわたしは、元気で、明るい かぞくにしたいと思っています。かぞくと、ホテルにとまりに行ったり、水ぞくかんに行ったりする一日が、とっても楽しいです。おこられた日も、お父さんとお母さんがけんかした日も、思い出にのこります。

ホテルにとまりに行つたとき、「グーグーグーグー」

作文
優秀

「家族の笑顔」

御船小5年 宮本 叶芽 さん

私は、家族がみんな笑顔になれるためには六つの条件があると思います。

一つ目は、いつでもできるだけ家族でご飯を食べたり、遊びに行ったり、遊んだりする事です。一つ目の条件の理由は、家族みんなで行動すると、楽しいから、家族みんなが仲良くなれるきっかけになるからです。

二つ目は、できるだけうちには、家族が多いのでみんな海や旅行に行ったりする

事です。二つ目の条件の理由は、家族の仲が深まるし、旅行とか行つてみんな楽しくゆったりすごしたからです。

三つ目は、家族みんなが仲良くなるためには、きょうだいみんなが仲良くなる事です。三つ目の条件の理由は、私たちがケンカをするとお母さんも、お父さんも、嫌だと思うから、みんなケンカしないで仲良くする事です。私たちがみんながケンカしないで仲良くすると楽しいからです。

四つ目は、うちの家は人数が多いので家のお手伝いをする事です。四つ目の条件の理由はさつき書いたとおり、うちは、人数が多いから、家のお手伝いをして、少しでも楽になってもらおうと思ったからです。

とうるさいお父さんのいびきがきこえてきます。お母さんのほうからも、「ピーピーピー」という大きないびきがきこえてきます。それはきつと、お仕事をしていた、一生けん命ががんばっているから、いびきが大きいんだと思いました。お父さんは、7時に起きて、「あー」と大きなあくびをしています。「まだ、ねむいな」といいます。それはきつと、8時すぎまでお仕事をしているからまだねむいというんだなと思いました。

かぞく全いで食べるごはんは、かぞくがバラバラで食べるごはんは、やつぱり家族で食べるごはんのほうが一番おいしくかんじます。でも、かぞくでいっしょにごはんを食べることは、ほとんどありません。でも、いっしょに食べた一日は、すごく、おいしいとかんじます。みんな食べる、そんな日は、ついついおしゃべりばかりして、おはしりとまっているの、お母さんに、「早く食べなさい」と注意されます。そんなことをくりかえしているの、けっきょくわたしは、一番さいごになります。

そんな平ほんなていですが、楽しくて、おうちが一番おちつきます。



絵画
最優秀

「あたたかい私の宝物」

御船小5年 藤富 香音 さん



標語
優秀

「おはよう」の一言

明るい家庭を築く

一般の部 吉澤 洋介 さん

標語
最優秀

「お手伝い ぼくがするから 休んで」

木倉小4年 氏原 奉文 さん



幼い瞳に映る大切なもの 日常にある家族の温もり

「家庭の日」推進メッセージ作品表彰

町青少年健全育成大会・町PTA連絡協議会研修会が1月29日、カルチャーセンターで開かれた。研修会では、「家庭の日」推進メッセージ作品の表彰式が行われ、作文、標語、絵画の部で最優秀や優秀など14作品に賞状が贈られた。ここでは、「家庭」をテーマにした子どもたちの心温まる作品を中心に紹介する。

Special
Topics
3